

営業利益率16・7%の高水準維持し 前期比大幅増益で折り返す

ノムラシステムコーポレーション(3940・7C)

ジャスダック上場のノムラシステムコーポレーション(3940)は8月10日に2017年12月期の中間決算を発表。前年同期比で増収・大幅増益を達成した。業績の詳細については別表に記載した通り。

同社はERP(業務を統合管理する基幹システム)で世界トップの独・SAP社の研修を修了し認定を受けたITコンサルタントを145名(中間期末時点)擁している。大手企業からの案件を中心に受注を拡大してきた。元請経由の案件に対し、ERP導入の専門

コンサルティングサービスを行う「FIS」と、クライアント企業に直接受注の「プライム」の2通りの受注経路がある。いずれも、大手企業の大規模なシステム構築を行う際に、SAP社のERPを扱うスペシャリストとして招聘される。

上期は直接受注の「プライム」及び「準プライム」案件の受注が堅調なことに加え、受注規模も拡大しており、大幅増益をけん引した。上期には想定以上のスピードで案件が進捗したため、上期計画を上回って推移した。これは同社がこれまで培ってきたノウハウを詰め込んで開発した「テンプレート」を活用した影響が大きい。

通期予想に対する進捗率は、売上高こそ49・3%に留まったものの、営業利益では62%、経常利益でも61・8%、純利益では72・1%の高い進捗率を示している。

「上期の増収要因は、3か月予定だった大手プラントメーカー向けの案件が前倒しで進捗したことが要因。当社のコンサルタントの技術レベルが高まっていることの証

明だ。また、大手プラントメーカーの案件は、当社の得意な人事・会計分野以外の領域まで拡大しつつある」(野村芳光社長)

SAP認定のコンサルタント資格取得状況は、第2四半期末時点で145名と前年同期から6名増加した。社員数500名以下の企業では、パートナー別取得数順位では3位に付けている。「春に入社した新卒社員7名も既に合格しており、足元では7月末で155名まで増えている」(野村社長)。期末には全体で189名まで増加させる目標だという。

ノムラシステムコーポレーションの業績

■2017年12月期 中間決算業績

売上高	12億3900万円 (4.8%増)
営業利益	2億900万円 (26.6%増)
経常利益	2億700万円 (25.5%増)
四半期純利益	1億4700万円 (48.5%増)

■2017年12月期 通期業績予想

売上高	25億100万円 (2.4%増)
営業利益	3億3700万円 (7.7%増)
経常利益	3億3500万円 (7.4%増)
当期純利益	2億400万円 (4.9%増)

※()は前年同期比